

蚊のいない町をつくらう！ 町会・自治会、 マンション管理組合等 を募集

協力団体 を募集

蚊の発生源である雨水マスへ薬剤を投入する事業に協力いただける団体(町会・自治会、マンション管理組合等)を募集しています。

事業は、5月～10月に月1回、雨水マスへ薬剤を投入する作業です。

申込後、保健所が雨水マスの設置場所と数を調査し、3月に使用方法等をお知らせするとともに、薬剤を渡します。

薬剤は、さなぎから成虫へ羽化するのを防ぐ効果があります。また、生態系への影響に配慮し、他の生物に対する毒性が極めて低い薬剤を使用しています。

【町会・自治会、マンション管理組合等(団体を対象とした事業です。個人の方はご遠慮ください。すでに事業へ協力いただいている団体は、申し込む必要はありません)】

【5月～10月に月1回、区内(区道・私有地)またはマンションの敷地および隣接する公道の雨水マスに薬剤を投入】

【保健所窓口または区ホームページにある申込書に記入し、〒135-0016 東陽2-1-1 保健所生活衛生課環境衛生係へ郵送、ファクスまたは持参】

☎(3647)5862
FAX(3615)7171

飲食店の創業を 考えている方へ

「創業支援セミナー」受講生募集

2/19(土)
・26(土)

「創業に必要な手続き」「創業資金」「物件選びのポイント」など、創業にはさまざまな不安や課題があります。飲食店創業経験のある講師から創業の基礎やポイントを実践的に学びます。

【時】2月19日・26日(土曜全2回) 午後1時半～5時半
【場】産業会館2階第4・5展示室(東陽4-5-18)

【人】区内在住・在勤で、両日参加でき、創業を考えている方20人(抽選。1月31日(月)以降抽選結果を通知)
【費】無料

☎(3647)2332
FAX(3647)8442
e sangyou-k@city.koto.lg.jp

中小企業向け無料セミナー

販促強化の3ステップ 集客・売上アップを目指して

集客・売上アップの販促・プロモーションの考え方・取り組み方を学ぶ連続講座です。区内を拠点に、飲食・サービス・小売を中心に中小企業のマーケティングを支援している中小企業診断士が、「ブランド作り」「プロモーション戦略」「販促ツールのポイント」の3つのステップを順序立てて説明します。

【時】下表のとおり(全3回)
【場】産業会館第5展示室(東陽4-5-18)

【人】中小企業に勤務する区内在住・在勤で、全回参加できる方20人(申込順)
【費】無料

【師】水上洋介(水上中小企業支援事務所、中小企業診断士)
【申】1月17日(月)から電話またはファクス、メールに①会社名・参加者名②会社所在地③電話番号④業種を記入し、経済課販路開拓担当へ※区ホームページからも申込可

☎(3647)1381
FAX(3647)8442
e hanro@city.koto.lg.jp

日時	テーマ	狙い
2/3(木) 14:00～16:30	魅力を伝える「ブランド作り」	自社や商品の魅力や価値を整理して、ぶれないルールとなる「ブランド」を明確にしましょう。
2/10(木) 14:00～16:30	購買意欲を高める「プロモーション戦略」	自社・お客様・ライバルをよく知って、狙いを定め、「とりあえず」の販促から脱却しましょう。
2/24(木) 14:00～16:30	必ず伝わる「販促ツールのポイント」	チラシ、パンフレット、HP、SNSなど販促ツールの企画や取り組み方のポイントを知って、実行しましょう。

小学校中期の子どもたち

よくある相談事例

最近、娘が「○○ちゃんは走るのが速いのに、私は遅い」「私には特技が何にもない」などつぶやくようになってきました。周りの目を気にするようになった。周りも元気がないようにも見えて、少し心配になります。

10歳前後は、自我が芽生える時期になります。しっかりと自我の形成はまだ先ですが、自我が芽生える、幼い万能感が薄れて、現実が見えてきます。前思春期です。自我の発達により、自分と他人との間で大きく感情が揺れ動く体験をするのもこの時期です。

この時期に心理面で気にかけるのが、こどもの自己肯定感の低下です。自分がある程度客観的に分析して他人と比較できるようになるため、自分が得意なこと・苦手なことをはっきりと意識し始めます。友だちと自分を比較して、自分の実力を実感することで自信をなくしたり、自尊心が低下することもあるでしょう。少し先を想像する力もついてくるので、さまざまなことへの不安を感じるようにもなります。

自己肯定感を育てるには、こどもの自己肯定感を育てるには、他人と競争して勝ちたいという「優越欲求」を満たす方法があります。これは相手があつたことなので必ず満たせるとは限りません。もう一つ有効なのは、過去の自分と比べて今の自分が成長したことを肯定的に受け入れる「成長欲求」をうまく満たしてあげることです。これまで以上にお子さんの良いところを見つけて、ほめてあげてください。例えば、こどもががんばっていること、何かに挑戦したとき、優しさや思いやりが伝わるような言動をしたとき、本人が気づいていない良いところなど、タイミングを逃さず、具体的にほめてあげることが大事です。

こどもたちはテストや競争など、勝ち負けで評価される機会が増えていきます。こどもにとって、ありのままの自分らしさを見てもらえる機会が減ることにもなります。「あなたのことが大好き」と、こどもの存在そのものを肯定するような言葉がけを、意識的にしてあげるのもいいですね。

☎(3647)9676
FAX(3647)9274